



理数科 課題研究発表会

6月28日、理数科3年生が昨年12月より取り組んできた課題研究の発表会を行いました。どの班も自分たちで見つけたテーマの解決を目指し、計画的に取り組んできました。発表は1、2年生にも内容が伝わるよう工夫を凝らしたものでした。

講師として東北大学ニュートリノ科学研究センター助教 池田晴雄先生をお招きし、御助言をいただきました。池田先生ありがとうございました。

生物班



化学班

物理班



数学班



地学班

研究の様子



理数科 2年校外研修

7月9日、理数科2年生が『スーパーカミオカンデ』と、重力波観測施設『KAGRA』について学ぶ校外研修を行いました。午前中には素粒子ニュートリノ、スーパーカミオカンデ、重力波、KAGRAについての講義を聞きました。昼食後は重力波をテーマに俳句を考えるなど、例年にはない活動も行った後、カミオカラボの見学を行いました。ゲームを通じて講義の復習をすることができました。

世界最先端の研究に触れ、未知の世界に興味を惹かれる貴重な体験でした。





YCK PROJECT REPORT

地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキプロジェクト」

地域をフィールドに多様な人とのつながりが価値ある学びをつくる

第3号

7月26日

2021

発行

YCKプロジェクト 課外活動プログラム「⑧絵本で地域を盛り上げよう」を実施しました！

課外活動プログラムとは、

自分の興味・関心・予定に合わせて参加できる、吉城高校の地域貢献活動です。今年度もバラエティーに富んだ魅力あふれる12のメニューを実施します。当日に参加するだけではなく、事前学習や振り返りによって、体験を通した学びを充実させています。

「絵本で地域を盛り上げよう」

◆日時：令和3年7月24日(土)9:30～12:00

◆場所：ハートピア古川

◆参加者：1年(1名)、2年(1名)3年(3名)

保育士になるという夢があり、絵本や手遊びを通しての子どもとのふれあい方を学びたい、地域の方々とかわる機会を増やしたい、人前で考えて話す力を身につけたいなどの気持ちで5名の生徒が参加しました。事前学習で実際に絵本を読む練習をしたり、子どもたちに読み聞かせを楽しんでもらうためにはどうしたらよいかを調べたり考えたりした上で当日を迎えました。



当日はNPO法人思い出の絵本展から7名の方々に読み聞かせやペースサート、手遊びのやり方を指導していただき、実際に子どもたちの前で披露しました。それぞれ読みたい絵本を選び、まず読んでみました。選んだ絵本は「ぴょん」「おめんです」「たなばたバス」「だるまさんと」「いただきバス」の5冊で、文字少ないものや、仕掛けのあるもの、子どもたちに人気のあるものを選びました。1回目に読んだ時には、緊張もあり、うまく声が出せず、ただ文字や文章を読むだけで面白みのない読み聞かせになってしまいましたが、メンバーの方から「動きをつける」「語りかけるように読む」「声

の大きさや速さに変化をつける」「ジェスチャーを使って参加型にする」などのアドバイスをいただき、時間のある限り、何度も練習を繰り返しました。本番では「教えていただいたことを大切にしながら自分の表現も入れつつ読み聞かせができた」「恥ずかしがらずに思いっきり読むことができた」「笑顔で楽しく読むことができた」など生徒たちも読み聞かせを楽しむことができ、聞いてくれた子どもたちも声を出したり、体を動かしたりしながら読み聞かせを楽しんでもらうことができました。



実施後、思い出の絵本展の方々に「とても上達が早く、私たちのアドバイスをどんどん吸収してくれるので、素晴らしいと思った。子どもたちもとても楽しそうだった。」との言葉をいただきました。生徒たちは「貴重な体験ができてとても楽しかった」「自分の殻を破って読めてよかった」「子どもたちが一緒にジェスチャーをしてくれてとても嬉しかった」「より一層保育士になりたいと思った」など短時間で多くの収穫があったようでした。思い出の絵本展の方々は、絵本の読み聞かせだけでなく、絵本を通した様々な活動をしていらっしゃると思ったので、また、機会があれば、そのような活動にも参加したいと思いました。

ご意見・ご感想などは、吉城高校・キャリア推進部までお問い合わせください。

☎ 0577-73-4555

